

しどういん

発行 厚木市青少年指導員
連絡協議会
編集 広報部会
厚木市中町1-1-3
TEL 225-2580

「目指せ「元気なあつぎ」
厚木市青少年指導員連絡協議会
会長 勝木 陽一

会長として1年が過ぎようとしていますが、青少年指導員のメンバー、青少年育成関係団体・市職員の皆様のご指導、ご協力により、責務を遂行することができました。深く感謝申し上げます。

厚木市では、「みんなで作るう元気なあつぎ」をコンセプトとし、それを達成するために、「未来を担う青少年が健全に成長していく」ことが必要だとしています。スローガンとして「心のふれあいと夢を育む青少年「家庭・学校・地域の連携」」を掲げて青少年育成に取り組んでおります。

私たち青少年指導員の基本は地域活動にあります。地域で子どもたちを育てる活動を行うに当たり、「家庭・学校・地域」の協働体制の在り方を検討する必要があります。その際、青少年関連団体を含めた地域の大人同士のコミュニケーションを図ります。さらに、ジュニアリーダーを育成し、関係をより密接にします。

私たち青少年指導員は、他の青少年関係団体・行政の方々、地域の方々と共に、「元気なあつぎ」をつくっていきます。



地域を盛り上げるメンバー



あゆむ回



音楽は世界共通語だ

私の地区自慢

一緒に楽しむ

依知北地区

依知北地区では、7人の青少年指導員が活動しており、青少年指導員全員が地区の青少年健全育成会にも所属しています。青少年健全育成会では、青少年が日頃体験したことがないことや少し難しいことにチャレンジできる機会を提供し、そこで充実感や達成感を味わえるような事業を実施しています。

また、今年度の青少年指導員独自の活動としては、ジュニアリーダーと一緒に実施した山際児童館夏まつりでの手作りのお化け屋敷、依知北公民館まつりでの焼きそばの模擬店、初めてジュニアリーダーコーナーを設置して実施した秋の上依知文化祭での紙ブーメランなどがあります。

何といっても泥んこパレー

南毛利南地区

南毛利南地区が自慢できることは2つ。
1つは田植え前の田んぼで行う泥んこパレーボール大会です。愛甲小学校長や愛甲公民館の衣装も見どころですが、何といっても泥だらけでボールを追う選手のハッスルプレーと笑顔は素晴らしいものです。我々青少年指導員はジュニアリーダーとともに、選手や応援の皆さんに楽しんでもらえるよう、大会運営に協力しています。

もう1つは事業への出席率が高いことです。青少年指導員独自の活動の他に地区の青少年健全育成会や公民館行事にも積極的に参加、出席率は90%を優に超えています。

フレンドシップコンサート

南毛利地区

10月4日長谷谷青少年健全育成会主催による「フレンドシップコンサート」が南毛利小学校体育館で行われました。

このコンサートをを行う目的は、長谷地区の3つの学校の交流です。愛甲小学校から東名中学校に行く学区、南毛利小学校から南毛利中学校に行く学区、毛利台小学校から玉川中学校に行く学区です。

この地の利を生かし地域の子どもたちと米軍座間キャンプの2つの音楽団フジ・ウィンスとアングルサムを迎え、音楽を通してふれあいの場が広がればと思います。

プログラムの最後の「聖者の行進」は全員での演奏、とても迫力があり、音楽は世界共通語だと思えました。

表彰者

喜びの声

神奈川県青少年指導員表彰

を頂いて

睦合南地区 福岡 典秋

11月9日、小田原市生涯学習センターにおいて第47回神奈川県青少年指導員大会が開催され、睦合西地区の葉山光三氏と共に福岡が、神奈川県青少年指導員表彰を頂きました。大変、光栄におもいます表彰を頂きました。

本青少年指導員大会は、小田原市青少年合唱隊の歌声で始まり、最後に鈴木一光氏の公演「社会的参照 大人が子どもを見守る意味」を聴きました。思い出に残る一日でした。

葉山光三氏と私は、13年前、同じ睦合南地区青少年指導員になりました。知り合いに頼まれ、「いや」とは言えず指導員になりました。子どもと一緒にいることは好きでしたが、しゃべりが苦手で、青少年指導員が務まるか不安でした。出来る限りイベントに参加して、青少年指導員に慣れようと思いましたが、



葉山氏(右)とともに

当時、睦合南地区では1年を通して稲作事業を行っており、子どもを育てるのではなく、稲を育てることに一生懸命で、楽しく行いました。田植え、収穫、餅つきときは子どもたち

心新たに
依知北地区 津田 信二

私が青少年指導員として活動をさせていただいてから、早いもので5年目となりました。青少年指導員を引き受ける

きっかけは、突然の自治会長長の訪問でした。当時は、自治会活動の1つとの認識であった私は、少しでも地域のお手伝いできればとの軽い気持ちで引き受けてしまったことを思い出します。

そんな私が表彰されると聞いた時は、本当に私が？との思いや、今まで青少年指導員として何をしてきたのかということを改めて考える機会となりました。

これからも、いただいた感謝状を励みとして、子どもたちとの関わりを大切に、地域の中で子どもたちが元気よく活動できる環境づくりに取り組み、地域を盛り上げていきたいと思えます。

平成26年度表彰者一覧

永きにわたる活動により、表彰を受けた仲間たちです。

神奈川県青少年育成 功労者表彰

(平成27年2月15日)
睦合北地区 古茶 一英
神奈川県青少年指導員 連絡協議会表彰

厚木市表彰

(平成27年2月1日)
睦合南地区 福岡 典秋
睦合西地区 葉山 光三
睦合西地区 葉山 光三

厚木市青少年育成活動 推進者表彰

(平成26年11月29日)
厚木南地区 亀井 智恵
依知北地区 津田 信二
睦合北地区 工藤 正
南毛利地区 笹谷由利子
相川地区 石井 幹夫
相川地区 新田美佐子
南毛利南地区 長島 保江



あゆむ回

おめでとうございます

その他
神奈川県青少年指導員連絡協議会の事業や市内関係団体等の主催事業に参加・協力



編集後記

成人の日に開催された「はたちのつどい」に、私の娘も出席していました。

早生まれの娘は、阪神淡路大震災や、地下鉄サリン事件で始まった年の生まれです。あの災害や事件から20年たったのですね。

小学校のPTA委員・中学校のPTA会長を経て、娘が大学生になった今でも、大学の保護者会の役員をしています。総長やゼミ教員の学部長と酒を酌み交わしたり、部活の応援に行ったり、むしろ私が楽しんでいきます。これも子どもに感謝です。

平成27年度も青少年指導員をよろしく願っています。

仲間が増えた
依知南地区

4月のアミューあつぎ開館事業・5月の少年少女フェスティバル・8月の防災キャンプ等、青少年指導員といつも一緒に活動してくれているのは、ジュニアリーダーズクラブのメンバーです。

中学2年生が1人もいなくて来年4月には、中学生がゼロ。そんな心配をしましたが、夏の防災キャンプにボランティアで参加してくれた生徒を含めて中学1年生が3人、ジュニアリーダーズクラブに加わるようになりました。

公民館・青少年健全育成会・自治会等の行事に取り組み力がアップしました。
地域の皆さん、何かお役にたてることがあれば、気軽に声をかけてください。

ジュニアリーダーとともに

陸合北地区

陸合北地区青少年指導員は7人で構成され、青少年健全育成会、公民館諸団体、児童館運営委員会のメンバーとして活動しています。また、陸合中学校区のジュニアリーダーズクラブの育成を推進し、本年度はジュニアリーダーの目覚ましい活動が児童館運営連絡協議会から表彰

されました。

主な活動内容は、小学校3〜6年生を対象にしたサマーキャンプ、自然に親しむ会、公民館まつり、小・中学校と合同のパトロール、厚木北高校の生徒が企画・運営する小・中学生を対象にしたスポーツ教室の支援です。これからもジュニアリーダーと協力しながら様々な活動を通して青少年の健全育成と地域が元気になるよう貢献していきたいと思えます。

地域こども教室

陸合南地区

陸合南地区には2校の小学校（清水小・妻田小）があり、それぞれの小学校で「地域子ども教室」を開催しています。放課後に開催するのは月1回ずつで、ドッジボールやグラウンドゴルフなどを行います。夏休みや春休みは会場を陸合南公民館に移し、ゲーム（的あて・ペーゴマ・バルーンアートなど）を行います。9月にはマジカルTOMさんを招き、体育館で大道芸の鑑賞会を行いました。

1年間の参加児童は、延べ1000人にもなります。どの子どもも、とても楽しそうに参加しています。子どもたちの居場所や交流の場をつくるために、これからも継続したいと考えています。

ジュニアリーダーの成長
荻野地区

荻野地区の自慢はジュニアリーダーです。
当地区のジュニアリーダーは中学1年生から高校2年生まで33人で組織されています。
春の少年少女フェスティバル、夏の河川美化運動、秋の地域大運動会、冬の星空観察会と四季を通じて大活躍しています。

少年少女フェスティバルでは輪ゴム鉄砲の工作支援。夏の河川美化運動ではゴミ拾い・鮎のつかみどりの運営支援。秋の地域大運動会では選手たちの誘導・審判・記録の支援。冬の星空観察会では子どもたちの望遠鏡の工作支援等々、我々青少年指導員とともに荻野の子どもたちのためにフル活動しています。
これからも彼らの成長を見守りつつ、自分たちのスキルも高めて行こうと考えています。

みんなで楽しむ！

厚木南地区

厚木南地区青少年健全育成連絡会では、年間3つの大きなイベントとして、「三世代地域交流スポーツフォーラム」、「防災キャンプへGO!」、「大山頂上へGO!」を開催しました。
特に子どもたちの反響が大き

かったのが「防災キャンプへGO!」でした。地域の防災設備を見学して、小学校の体育館で1晩泊まりました。夜は激しい雨の音にびっくりした子どももいましたが、みんなでキャンプファイヤーを囲み、防災知識を交えながら楽しいレクリエーションの時間を過ごしました。各イベントを運営するにあたり忘れてならないのが、ジュニアリーダーや厚木中学校ボランティア部員の活躍です。小学生と大人のかけ橋として、自分たちで考え、積極的に参加していただきました。

今後もみんなで楽しめ、参加いただけるようなイベント企画をしたいと考えています。



はしご車すごーい!

地区活動頑張っています

厚木北地区

厚木北地区地域福祉推進委員会（世代間交流部会）の健康維持事業「秋のニユースポーツ体験会」が11月29日、厚木小学校の体育館において、小学生と高齢者約40人参加のもと行われ



高齢者とジュニアのハンドゲーム

ものづくり体験教室

玉川地区

玉川地区には2つの単位の青少年健全育成会があり、青少年指導員はこの活動についても支援しています。今回は小野・岡津古久青少年健全育成会の事業で10年目となる「物作り体験教室」について紹介します。

今年度は厚木ガラススタジオで「とんぼ玉作り・サンドブラスト・宙吹きガラス体験」を実施しました。バーナーを使ったり、溶けたガラスを扱ったりするため、職人さんのサポートを受けて子どもたちは真剣に取り組みました。中には、3年前は割れてしまったので、今年はりペンジだと意気込んで参加した子もいました。初参加の子はガラスが風船のように膨らむ様子に歓声を上げていました。子どもたちの作品は公民館まつりで展示します。

ふれあいお泊り会

森の里地区

森の里地区の青少年指導員は、青少年健全育成会連絡協議会の役員として様々な育成活動に携わっています。その1つに「ふれあいお泊り会」があります。

これは、ジュニアリーダーが中心となり、七沢自然ふれあい

センターで1泊2日の合宿形式で小学生たちとゲームや食事作りを通してふれあう企画です。

ジュニアリーダーたちが企画内容を決め、当日は小学生たちをリードしていきます。小学生たちが、ジュニアリーダーに親近感を感じながらも、節度のある態度で活動をする様はジュニアリーダーのリーダーシップの賜物と思えます。
頼もしくなっていくジュニアリーダーと次の世代の小学生を見て、これからの期待してしま

楽しいお手伝い

陸合西地区

10月25日、第3回ヤングフエスタin陸合西が、陸合西公民館で行われ、お手伝いをしました。参加出演者は、幼稚園、小、中、高校生です。

林地区の林太鼓保存会による迫力ある太鼓の演奏から始まり、幼稚園の子どもたちはかわいらしい踊りを一生懸命踊り、小学生はかっこいいダンスを、林中学校と陸合東中学校の吹奏楽部は迫力のある演奏を、厚木東高校は人形浄瑠璃、厚木商業高校は琴の演奏をそれぞれ披露してくれました。観に来ていたお年寄りの方々に大いに喜んで頂きました。子どもたちも参加賞のあゆこ口ちゃんバッジをも

らって大喜びでした。

陸合西地区は、近隣に学校が沢山あり、1年間の練習の成果を公民館で披露してくれます。ぜひ大勢の方にお立ち寄りいただきたいと思えます。



迫力ある演奏

3つのこだわり

相川地区

相川地区の青少年指導員は、経験者5人（含む女性1人）、新任者2人の合計7人です。ペテランの理事を中心に、仲良く愉快地活動している相川地区のこだわりを3つ紹介します。

1つめは、毎年改良を重ねる平成の水鉄砲。春の少年少女フェスティバルの定番で、ジュニアリーダーの製作指導も大好評。2つめは、冬の公民館まつりの焼き芋。さつま芋の仕入れから、ドラム缶の焼き芋づくりまで、秘密の技が満載です。長い列の来場者が、焼き芋の完成を楽しみに待っていてくれます。3つめは、12月の中3日ジュニアリーダーの地区壮行会。日頃の感謝、受験の勝利、そしてカムバックの願いを込めて、

お菓子パーティーをしながら、参加者全員でエールの交換を行います。

のびろろが大きい相川地区の今後の躍進に、皆さん、えうご期待！



水鉄砲の指導者達

リバーフェスタ2014

小鮎地区

今年も夏休み前の7月20日に「ふるさと小鮎の自然を大切にすることのできる子ども育成」と河川への美化意識、子どもたちが自然体験活動を通じて楽しく遊び、異なった年齢の方々と交流を図るとともに地域の大人とのふれあいを深める」との趣旨のもと小鮎リバーフェスタ2014が開催されました。

準備は1週間前から流しそめん用の太い竹の切り出しと、竹を細く削って塩焼き用の竹串を役員総出で行い、当日は役割を分担し、青少年指導員は受付・鮎のつかみ取り・流しそめん竹樋の加工と麵ゆで・川遊びなど、それらの役割のリーダーとなりました。
小鮎川をまたいで設置された

ました。まず、参加者を3グループに分け、各種目を30分毎に回ります。グループ対抗競技の「スポーツ吹矢」では、スポーツ吹矢協会厚木支部の方々の協力で、礼儀作法から指導していただきました。

競技は、ひとり5本の矢を吹いて得点（最高得点35点）を争います。30点を超える得点をマークする小学生もいて、的をめぐって真剣な顔で吹矢を構えていたのが印象的でした。
グループ内での競技は、3対3で争う卓上のカーリング「カーレット」です。みんな、大声を張り上げながら楽しそうにゲームをしていました。

さらに、ジュニアリーダーを中心にゲームをして、小学生と高齢者の親睦・交流を図りました。また、12月6日に行われた児童館主催「ワクワクこどもまつり」は、工作・射的・ストラックアウトを担当し、多くの子どもたちとふれあうことができたと思えます。

ビッグな流しそめんは、ジュニアリーダーが麵を少しずつ流すと、お椀いっぱいになり、麺が口いっぱい満足そう。子どもたちの姿が見られました。大人も流しそめんや鮎の塩焼きを食べお腹を満たしました。
私たち、青少年指導員を含め役員の方々や保護者の方々とふれあいの機会が持て、楽しい一日を過ごしました。
**厚木市青少年健全育成大会に参加して
緑ヶ丘地区**
第39回厚木市青少年健全育成大会において「豊かな心育む故郷・緑ヶ丘」をテーマに活動を紹介しました。
「魚つかみ取り大会」では他校の子どもたちとのふれあい、「いもほり大会」ではお年寄りを含めた三世代のふれあい、「もちつき大会」では親子のふれあい、「ボーリング大会」では上級生と下級生のふれあいなど、それぞれの事業に参加した子どもたちが、「ふれあい」を通じて大きく成長してくれる事を願いながら活動を行なっています。
冒頭で紹介した50年前の空き地だらけの頃と変わらず地区ぐるみで子どもたちの心を育む活動に、これからも励んで行きたいと思えます。